

☆ 中 国

化繊設備 河北吉藁、バイオベース長繊維を生産へ

6月8日、吉林化繊集団傘下の河北吉藁会社の成立30周年及びバンブー繊維「天竹」繊維誕生20周年産業チェーン座談会が開催された。同会議では、吉林化繊と河北省石家庄藁城区政府による「年産2万トンのバイオベース長繊維プロジェクト」の調印式が開かれた。

今回契約されたプロジェクトは、現在ある年産3万トンのレーヨン短繊維生産ラインを淘汰し、2期に分けて2本の年産1万トンのバイオベース長繊維生産ラインを建設するというもの。最先端の設備を導入し、原料の竹パルプからダイレクトで糸までを完成する短工程を実現したという。完成すると、同社の製品は短繊維に加え長繊維となり、吉藁は中国で数少ないバイオ系セルロース長繊維を生産する企業の一つとなる。年間売上高は10億元を見込むほか、新規雇用230名分を予定している。

河北吉藁化繊は、中国におけるセルロース繊維の研究開発に注力している代表的な企業であり、省レベルの研究開発センターを有し、既に許23件の特許を取得済みである。同社が開発に成功した「天竹」繊維は、国家重点新製品と国家技術イノベーション賞を受賞し、フランスのプルミエールビジョン展に参加している。

なお、同社は将来的には、親会社の吉林化繊集団の炭素繊維プリカーサ、炭素繊維生産基地、河北省の炭素繊維製品加工地域を活用し、炭素繊維産業園区を建設する計画もある。この計画では、25億元を投資し、吉林化繊、浙江精工、中国科学院と協力し、炭素繊維製の自動車部品、航空部品、船舶材料などの研究開発を目標とするものである。